

# 大学の世界展開力強化事業(平成27年度採択) 東京農業大学 取組概要

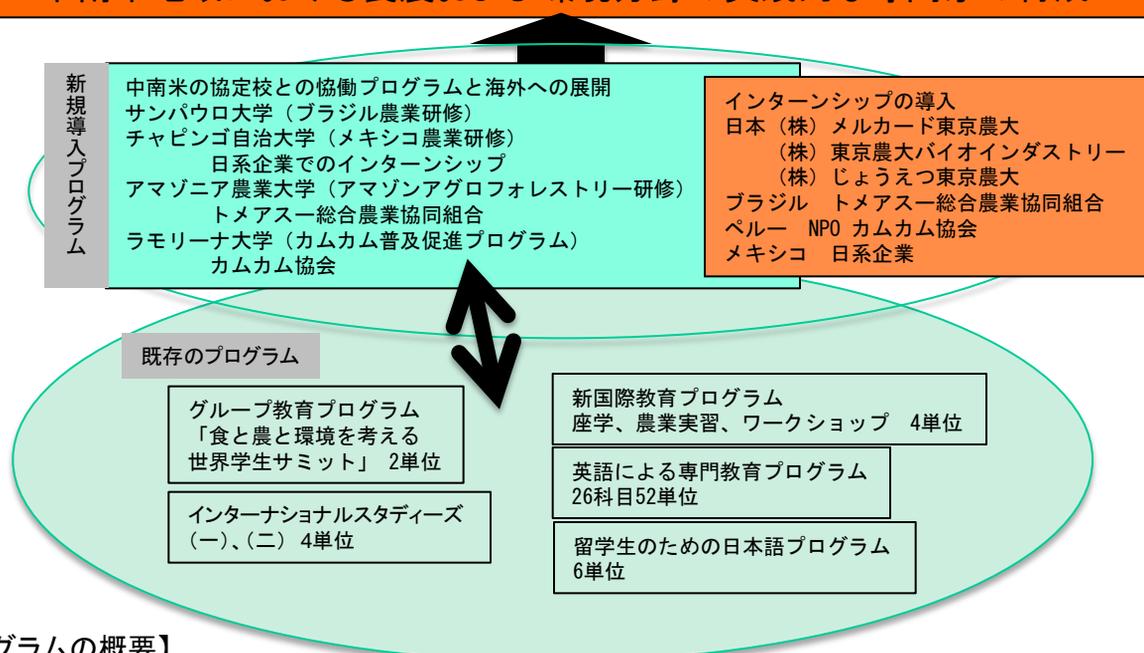
【事業の名称】(選定年度27年度・主たる交流先(中南米))

中南米地域における食・農・環境分野の実践的な専門家育成事業

## 【事業の概要】

東京農業大学と中南米の農学系大学との連携を強化しながら、既に実施している交換プログラムに農学系インターンシップを加えて総合的実学教育プログラムを実施し、中南米地域で活躍できる開拓(開発)型グローバル人材を育成し、持続的な食糧生産をめざす日系企業への就職並びに農林水産業における起業家の実業を支援するものである。

## 中南米地域における食農および環境分野の実践的な専門家の育成



## 【交流プログラムの概要】

- 派遣先協定校4大学への長期派遣(8・9月から6カ月～1年)・短期派遣(8・9月に2～3週間)・農学系2団体への長期(6カ月)及び短期派遣(1カ月未満)
- 派遣先協定校4大学からの長期受入(6カ月～1年)・短期派遣(2週間)・有機農業、食品加工、商品開発と販売の会社への長期(6カ月以上)及び短期受入(1カ月未満)

## 【本事業で養成する人材像】

海外協定校での学びと農学系インターンシッププログラムを通して、中南米地域における食農分野および持続的な食糧生産に関する環境分野での実践的な専門家の育成をめざす。また、日本からの短期留学生は現地においてスペイン語もしくはポルトガル語の集中教育を受講させ、中南米からの留学生は本学で集中的な日本語教育を行って、相互の文化を理解した専門家を育てる。

## 【本事業の特徴】

- 爆発的人口増加に伴う世界的食糧問題は人類が取り組むべき課題であり、中南米地域は食料供給基地として今後重要な役割を果たす。本学は農学・生命系総合大学として中南米の協定校と共に、現地に移住し活躍する卒業生の支援を受けて、短期・長期交換留学と農学系インターンシップを結び付けたプログラムを行うことにより、食・農・環境分野の実践的な専門家を育成する。

## 【交流予定人数】

	H27								H28								H29							
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe
学生の派遣			6			2		2			8			6		6			9			8		8
学生の受入			3			1		1			6			2		2			9			3		3
	H30								H31															
	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe	A	Bo	Br	Ch	Co	M	Pa	Pe								
学生の派遣			9			8		8			9			8		8								
学生の受入			9			3		3			9			3		3								

A:アルゼンチン Bo:ボリビア Br:ブラジル Ch:チリ Co:コロンビア M:メキシコ Pa:パナマ Pe:ペルー